



都立病院労組 Toritsu Hospital Workers' Union ニュース

第4期 5号

2025. 11. 25

地方独立行政法人都立病院機構労組
執行委員会発行

**支払われていますか？
超過勤務手当**
支払われていない場合は
労働組合へ連絡を

人員不足の実態を明らかにし早急な対策を いったい何人足りない？進行する深刻な人員不足



「令和7年4月法人職員10,330人を配置している」これは、秋の団体交渉で、欠員が出ている職場を明らかにして、人員補充計画を示せという組合の要求に対する回答です。組合の要求に全く答えていません。23年（令和5年）7月の法人職員数は9925人でしたから、405人増えていると言いたいのでしょうか。

しかし人が増えているなんて、私たちの実感と全く違います。（405人の増といっても、都立病院機構全体ですから、1病院あたりにすると28.9人です。）

人が増えているなら。なぜ月6回もの夜勤をしなければいけない職場があるのでしょうか、2交代夜勤の後の休みが取れない職場があるのでしょうか。なぜ調剤や点滴の払い出しが定時に終わらないのでしょうか。20日間の年休が取得できないのでしょうか。やっぱり現場で働く人は増えていません。

人がいなくて業務が時間内に終わらないのに、自己申告やeラーニング、やらなければいけないことは増えるばかりです。

人員不足は健康問題です。人手不足は、残業を増やし、夜勤回数を増やし、ストレスを増やし、健康に悪影響を与えます。（夜勤はWHOも認めた発がん性のある有害業務です。）

都立病院労組は各支部と共に、各病院での人員不足の実態を明らかにし、病院と機構本部に対して人員充足のための計画を明らかにするように求めています。

どんな素晴らしい人材育成ビジョンを作っても、子育て支援策を導入しても、現場で人が足りていなければ、絵に描いた餅です。

人員が充足された、働き甲斐のある職場をつくるために、力を合わせましょう。

OTC類似薬の保険外しは現役世代の負担を激増

高市自民・維新政権は、OTC類似薬の保険外しを26年度中に行うと閣議決定しました。現役世代の社会保険料負担軽減のためといいますが、保険外しが強行されれば、薬剤費が20倍から30倍に増加すると試算されています。これでは、病気になった時に、必要な治療薬を買うことができない人が出てきます。そうなれば、重症化して初めて治療を受けることになり、結果医療費の増大を招きます。

※ 保険から外されれば影響甚大	
アレルギー性鼻炎 179万人	アトピー性皮膚炎 160万人
関節症・リウマチ 288万人	喘息 185万人
胃炎・十二指腸炎 110万人	感染症 (皮膚等ウイルス性、皮膚糸状菌症、カンジダ) 110万人
アレルギー性結膜炎 50万人	月経障害 89万人

保団連ポストより転載

発行 地方独立行政法人都立病院機構労組

@toritubyoin_ro 都立病院のお役立ち情報を発信しています

あなたの職場の健康度は？いますぐチェック →



LINE@ 都立病院労組

職場のお悩み相談に乗ります
LINE@アプリの登録が必要です

